



ヘチマは、どうして、お花しか咲かないの

ヘチマは、め花も咲く

4月ごろヘチマの種を植えると、6月の終わりごろ、ヘチマには、お花とめ花ができてきます。花が、たくさんかたまっているのが、お花です。お花のかたまりのわきで、太くなってきたきの先に、つぼみが一つだけついたような形をしているのが、め花です。

お花は、下の方から順に、咲き始めます。お花が咲きそろったころ、め花が咲き始めます。こうすれば、め花は、お花の花粉を受け取りやすいからです。

にぎやかに咲く、お花のかげで、め花は目立ちませんので、め花は咲かないというふうにおもったのでしょうか。

め花の下のふくらみが、ヘチマの実になる

花粉を受け取っため花は、花の下の部分がどんだんのびて大きくなり、やがて、大きなヘチマの実になります。ヘチマの花は、お花もめ花も、朝咲いて夕方しぼむ、1日だけの命です。お花は、次の日には、花の部分がとれて、落ちてしまいます。め花は、しばらくの間、成長するヘチマの実の先に、しぼんでくっついていきます。（監修・矢野 亮）

ヘチマの花

